

鎮西学院だより「シャロン」

2016. Vol.3

# Sharon

2016年度 鎮西学院目標聖句

「確かに未来はある  
あなたの希望が断たれることはない」

旧約聖書 箴言23章18節



# 地域に目を向けて

キーワードは、地域。  
地域社会の中に根を降ろして、  
ともに進んでいきたいと思う。

学校法人鎮西学院 教育顧問 姜尚中

## Profile

- 1950年 熊本県熊本市生まれ
- 1974年 早稲田大学政治経済学部政治学科卒業
- 1979年 早稲田大学大学院政治学研究所博士課程修了
- 1996年 ドイツ エアランゲン大学に留学の後、国際基督教大学准教授
- 1998年 東京大学社会情報研究所助教授
- 2004年 東京大学社会情報研究所教授(組織統合に伴い)  
東京大学大学院情報学環・学際情報学府教授
- 2010年 東京大学大学院情報学環 現代韓国研究センター長
- 2013年 聖学院大学全学教授、東京大学名誉教授
- 2014年 聖学院大学学長(2015年3月迄)

東京大学をはじめとする多くの大学で教壇に立ち、  
数々の要職を歴任してこられた  
日本を代表する政治学者の姜尚中氏が、  
2016(平成28)年4月1日付で  
鎮西学院の教育顧問に就任。  
今後の抱負を語っていただきました。



教育顧問就任の記者発表。



理事長、学院長と握手を握り合う教育顧問。

## 経験の中で学んだことを 次の世代に伝えて

政治学者としてはもとより、各方面で活躍の姜先生。とてもお忙しい中で、鎮西学院の教育顧問就任です。

「顧問なんて仰々しい名前ですけど、アドバイザーです。ただ、以前、ミッション系の大学の学長をやっていたことがあって、そこで私が経験したことを何らかの形で生かせれば、伝えていければいいのではないかと思っています」。

長年に渡り教壇に立ち、学長を務めて多くの教育現場を見てこられました。伝えるというのは、受け継いで次の代に授け渡すという意味を持ちます。

「ここで伝えるというのは、大きく分けると3つあります。1つは、生徒、学生、若い世代に、私が著述業や大学の仕事をすすめる中で蓄積してきたものを伝えていくという仕事。また、1つは、教職員や学院をマネージしていく人達に、学長職になって得た非常に大切な教訓を伝えたい。さらに、場合によっては、市民の皆さんに何かを乞われれば話すというスタイル。そういう、3つがあるかと思いますが」。

さまざまなおスタンスで、幅広くメッセージを発信してくださることが、待ち望まれています。

「いちばん気がかりなのは、若い世代の子達ですね。今、日本の社会は、不確実性の時代にありまます。そういう中で、どう生きたらいいのかということ、それから、自分はなぜ学んでいるのかということ。つまり、そもそも論が非常にぼんやりとし

ています」。

今がどういう時代で、どういうふうを迎え撃つたらいいのか。若い世代は、真剣に向き合うべきだとお考えです。

「単なる小手先の知識ではなくて、自分が生きるといふことに対する、もつとコアな部分が必要だと思えます。やっぱり私のように60代の半ばを過ぎると、新しい世代に何を残すか、どういうメッセージを託すかが、課題になってきますよね」。

## ゆるぎない地域の地力を ともに育んでいく



東京の一極集中に限界を感じ、「キーワードは地域」と言っておられました。

「地域社会の集合体が社会を、国を、世界を構成しているんです。その最も基本的な単位である地域社会がどんどん崩落して収縮していけば、根本が成り立たなくなりまます。そこに気づいたのは、約20年ぐらい前でしょうか」。

今は、地域の力が試される時代にあるとか。

「大学も含めて、地域の中でコミュニティや人々の暮らし、社会的関係性、ネット

ワーク、こういうものをしっかりと作り上げていくことが、地域の地力になります。地域の力は、改めて問い直されています」。

地域は、少子高齢化、過疎化、雇用など、多くの問題を抱えています。

「老若男女を問わず、国籍も問わず、異質なものが交流し合いながら、1つの地域という場を共有し合っています。そして、そこにアイデンティティが生まれてきます。長崎は伝統的に外に開かれた地域。未来をそんなに暗く考える必要はないと思います」。

## 学院として進むべき道を しっかりと見据えて

地域が重要視される中で、学校、学院、大学は、どのような役割を果たすべきなのでしょう。

「ただ外側に流出していく人を育てる今までのパターンではなく、現場力を持った人が地域社会の中で生きられるような、地域は地域の中でしっかりと支えられるような、さらには外側からの人も呼び込めるような、そういう地域づくりをしたいか、ないか、ないかと思えます。学校、学院、大学は、その一貫の中にあるんです」。

地域とともに歩んでいくということを具体的に内実化していかないと、いけないと。

「教育機関というのは、単なる教育機関に限定されなくなりました。もつとマルチな、しかも社会的機能を多機能的に担う、そういう拠点でなければならぬと思います。学校、学院、大学が、万が一の時の拠点になる。キリスト教的に言う

と、僕はノアの方舟だと思っています。学院は、ノアの方舟にならないといけないんです」。

鎮西学院のあり方は、諫早の市全体の動向を占う非常に大きな意味があるとお考えです。

「大げさに言うと、鎮西学院がどうなっているのかということは、諫早という10数万都市がどうなっているのか、ある種のパイロット的な役割。これからは、あえてローカルに徹する。それしかないと思います。鎮西学院が小さいからこそ、サクセスストーリーではないけれど、それなりの成果を上げれば、かなり大きな役割を果たせます。そういう抱負を持って、やっていきたいと思います」。

最近、絶対にしないと決めていたゴルフが好きになったという姜先生。自然条件に左右されるゴルフをすると気長になるとかで、教育の現場で大いに役立つとのこと。そんな姜先生は、九州・熊本育ちです。ぜひ、今後さらに九州に、特に鎮西学院にお力を貸してください。そして、どうぞ、気長におつきあいください。



校舎の前に立つ理事長、教育顧問、学院長。

# 「芸術や文化に親しんで、感性を育くむことはとても重要です」。

重松史郎司法書士事務所 司法書士  
重松 史郎(しげまつ しろ)さん

## Profile

鎮西学院高等学校(新高18回生)、西南学院大学法学部卒業。重松史郎司法書士事務所代表、学校法人 実教学園理事、福岡・文化振興会常任理事、社会福祉法人那珂川福祉会評議員。芸術・文化に造詣が深く、幅広いネットワークでさまざまな分野の人たちとの交流を楽しんでいる。

## 法律の仕事を第一線で

鎮西学院校友会福岡支部の支部長を長年務めてくださっている重松史郎さんは、現在の雲仙市小浜町の生まれです。中学、高校と鎮西学院で学び、その後、福岡の大学に進んで、就職で東京。東京で社会人としてキャリアを重ねる中、大学で学んだ法律に関わる仕事をしたいと思うようになり、31歳で司法書士の資格を取得。司法書士事務所に勤め、司法書士の専門学校の立ち上げにも関わって、後進の指導に当たりました。「問題づくりや講義、通信教育、おもしろかったですね。僕の講義は評判がよかったですよ」と、当時を振り返る重松さん。40歳を機に開業、福岡で独立。重松史郎司法書士事務所として、司法書士の資格を持つ奥さまと10人近くのスタッフとともに多大な業績を重ねてきました。また、本業の傍ら、数々の団体の理事や評議員、専門学校や大学の非常勤講師などの依頼も受け、多くの人望を集めています。

## 多彩な趣味を本格的に

何事にも熱心で、マルチな才能の持ち主の重松さんは、実に趣味が豊富です。小浜での幼少時代にも絵を習っていたという重松さんが描く作品は、さながらフランスの印象派のようなやさしいイメージ



オフィスで机に向かう重松さん。

で、見る人の心をなごませてくれます。楽器は、ギター、ピアノ、サックス、フルートをたしなみ、いずれもステージで披露できるほどのプロ級の腕前です。また、ヨーロッパ、アメリカ、オーストラリアなど、海外にも多く旅をして、知らないまちで車を走らせ、地元の人とふれあい、会話を楽しんできました。そのため、英語は、読む、書く、話すレッスンを重ね、今も定期的に仲間を集まり英語で真剣にディスカッションをしています。「友達から、あなたは文化人だねって言われるんですけどね、ひとつのことに集中できなくて、馬鹿みたいですよ」と微笑む重松さん。多芸多才でうらやましい限りです。

## クリントン大統領を迎えて

重松さんの英語力は、仕事、旅先、さま



旅先のオーストラリアで奥さまと。



オフィスに飾られている重松さんの作品。



ご夫婦ともに司法書士としてご活躍。



仲間とセッションすることもしばしば。

さまざまな場面で生かされてきました。中でも、特筆したいのは、第42代アメリカ合衆国大統領クリントン氏が来福した時のことです。平成15年11月、退任して間もないクリントン氏の講演会が福岡で催されることになり、重松さんはエスコートの大役を任されることになりました。お出迎えからお見送りまで、福岡滞在中は常に傍らでお相手をしました。「ずっといつしよにいて、プライベートなお話もしてくださって、光栄でしたね」。アメリカ大統領と長時間に渡り1対1で会話を交わす重松さんの英語力もさることながら、大統領と親睦を深めることができる人間としての魅力にも敬服です。

また、その他にも、福岡・文化振興会常任理事の重松さんは、五木寛之さん、養老孟司さん、夏樹静子さん、高樹のぶ子さんなど、著名人とともに過ごす機会を多く経験しています。

### 感性豊かに自ら選んだ道を

クリントン大統領との出会いをはじめ、いろいろな国の人たちの価値観に触れてきた重松さんは、進歩的でポジティブな考えを持っています。「美術館や博物館



クリントン大統領と  
固い握手を交わして。

ントルマン・スピリッツ  
ツで、人生を謳歌  
し続けてください。

行つて感性を育む。そして、自分の道を考  
えいく。そういうことを日本人はするべ  
きです。画一的な教育だけでは、だめだ  
と思いますね。司馬遼太郎の『坂の上の  
雲』じゃないけど、坂の上に浮かんだ雲を  
めざして登って行く、目標を持つことで  
す」。また、経営者としてのスタンスも紳  
士的です。「友達を利用しない、見返りを  
要求しない。それが、僕のやり方です」。

文化や芸術に関心を抱き、飽くなき  
探究心で世界を広げてきた重松さん。こ  
れからも鎮西学院のOBならではのジェ



クリントン大統領をお出迎え。

鎮西学院の頑張りは、生徒、学生、卒業生、教師、誰にとってもうれしいものです。鎮西学院の生徒や学生の活躍にスポットをあててご紹介します。

鎮西学院高等学校 インターアクトクラブ

江島 佳歩さん 森 彩さん 松岡 葵さん

普通科 国公立進学コース 3年

クラブをまとめる会長、副会長、幹事の3人は、とてもなかよし

## 「インターアクトクラブ」って、なんだろう？

「地域のためのボランティアと

国際理解を深めるための活動をしています」。

インターアクトクラブ (Interact Club) とは、ロータリークラブにより提唱された、12歳から18歳までの青少年または高校生のための社会奉仕クラブです。日本においては、高等学校の福祉・ボランティア系のクラブ活動(部活動)・サークルとしておかれることが一般的。メンバーは、仲間と楽しく活動しながら奉仕プロジェクトに参加し、世界や社会についての視野を広げます。さらには、行動力を身につけ、将来のリーダーとなるためのスキルを学習。生涯にわたる友情を築きます。

鎮西学院高等学校のインターアクトクラブは、諫早北ロータリークラブの提唱のもと、指導、助言、監督していただいて活動しています。



3年前から始まった「福島交流」で、福島県の桜の聖母学院中学校・高等学校を訪問

## 学校や地域で幅広く活動中

今年、創部31年を迎える鎮西学院高等学校のインターアクトクラブ。現在は、3年生21人、2年生2人、1年生3人の総勢26人で活動しています。活動内容としては、オーストラリアやアメリカ、カナダなどからの留学生の勉強のサポート、附属幼稚園の先生の手伝いや園児のお世話、本明川の清掃活動、諫早駅前での募金活動、諫早ゆかりの小説家野呂邦暢さんを偲ぶ「菖蒲忌」での作品朗読や式典補助活動など、校内、校外と多岐にわたり、いろいろとお役に立っています。そして、そうした活動内容を月に1回の例会で日々、見聞を広めているインターアクトクラブのメンバーたちです。

## 多くの人との交流を大切に

今回、話を聞かせてくれたのは、いずれも3年生で、会長の江島佳歩さん、副会長の森彩さん、幹事の松岡葵さんの3人。中学時代は、それぞれ、テニス部、卓球部、バレー部と運動部に所属していましたが、高校では学業との両立を考えて文化部に入ることにしたそうです。そして選んだインターアクトクラブはどうだったかというところ、「クラブのみんなとなかよくなれて、よかつたなと思っています。いっしょに活動をしていく中で、仲間意識が生まれて



クラブの運営について、  
楽しく打ち合わせ中の3人



きました。

## 大イベントの成功に向けて

毎年、夏に長崎県と佐賀県の高校のインターアクトクラブのメンバーが一堂に会して、年次大会という催しが行われています。開催地はそれぞれの高校が持ち回りとなり決められていて、今年も鎮西学院高等学校がホスト校という大仕事を任されています。ホスト校が3つのイベントを考えて、参加校が3つに分かれてそれぞれのイベントを体験して、翌日に発表し合うというプログラム。鎮西学院高等学校では、

音楽のラップづくり、車椅子バスケット、ウエスレヤン大学の留学生との交流を予定しています。また、年次大会では、クラブ運営、国際理解、社会奉仕などの項目で優秀なクラブの表彰も実施。鎮西学院高等学校は6年連続金賞を受賞している、今年も期待が高まります。

国籍、年齢、性別が異なるいろいろな人と、いろいろな場所で交流するインターアクトクラブ。メンバーのみんなのさらなる活躍に注目したいと思います。まずは、年次大会の成功に向けて、クラブ一丸となつて頑張ってください。



# 鎮西学院幼稚園

本園の最新情報をHPに掲載しています。

鎮西学院幼稚園 検索



一番上まで上るよ!



投げて〜キャッチ!



園長 西村 暢彦

## 子どもは「チャレンジジャー」

幼い子が高い所から飛び降りる。少し勇気がいります。でも、子どもはチャレンジします。それができると、もつと高い所から飛び降りようと挑戦します。幼児は、目についたあらゆる分野に毎日チャレンジしているのです。一見、遊びに見えるこのチャレンジは、子どもの持つ本能のように感じます。

運動だけでなく、手先を使った器用さへのチャレンジも、日頃からたくさん見られます。はさみなど様々な道具を使ったり、言葉や文字を覚えようとしていたりするのも、素晴らしいチャレンジです。

5月の中旬になると、年長さんのクラスの前に金槌と釘と木切れが用意されます。すると誰ともなく板に釘を打ち込み始め、やがて多くの子どももがつぎます。手を打ってしまい、血豆ができる子もいます。でも、泣きません。さらに釘を打ちます。自分から始めたチャレンジでは、泣かないことが次第に多くなります。素晴らしい!

危ないことに大人が臆病になると、子どもの体力や運動能力、器用さが育たなくなります。のびのびと、安全に、このさじ加減が難しい所です。

「寝返り↓はいはい↓つかまり立ち↓伝い歩き↓よちよち歩き」と、子どもは生まれてから、何事にも恐れることなくチャレンジを続けています。

だから、幼稚園ではチャレンジできる様々な場面を計画的に設定しています。これが幼児教育なのです。

われわれ大人は、新たな分野へのチャレンジを、幼児の姿に学ぶべきかもしれませんね。



釘をまっすぐに〜指を打たないように



はみ出さないように



今度こそ、うまく回せるかな





## 子どもの輝く姿を楽しみに

主任 原田 裕子

今年度も可愛い子ども達と保護者の方々との出会いが与えられ、感謝しながら新年度がスタートしました。賑やかな声が園全体に響いています。

先日、ある園児がお当番の仕事で牛乳・おぼん運びをしようと職員室へやってきました。その子は牛乳かごを抱えクラスへ向かうドアまで行きまし。その後を別のお当番の子ども達がおぼんかごを持って続きました。すると、牛乳かごを抱えたその子は、自分が通り抜けたドアの扉をしつかりと足で抑え、おぼん係の子どもを先に通してあげたのです。

近くで見えていた私は、その子の行動にとっても感動しました。わずから歳ですから、お当番の仕事をやり遂げることで頭がいっぱいのはずです。しかも自分も重たいものを持つていたというのに、友だちが続いて来ることを予測し、ドアを開けたままにしておき、自分より先に友だちを通してあげることが出来たのです。

現代社会の問題として、学力はあるのにコミュニケーション力や協調性がなく、仕事が続かない若者が増えている現象を思うとき、「人に気づかいができる」というこの子の行動はととても輝いて見えました。

幼児は遊びを通して生きる力を身につけていきます。友だちと共に遊び込む中で、意見の食い違いがでてきますが、子どもな

りに自分の意見を通そうとしながらも、相手の考えを聞き妥協点をみつけ、遊びを進めています。その事は、やがて社会人となり、多くの人とつながりながら仕事をする上で、とても重要なことになっていくのです。

当園では、子どもの自主的な遊びを重要視し、子ども達が主体的にのびのびと遊び、さまざまなたラブルを乗り越えながらも、仲間と共に育ち合っていく環境を整えています。

神さまのお守りの中で安心して遊び、たくさん経験を通して、人を思いやることができる愛される人間に育って欲しいと思います。

今年度も、子ども達が心身ともに成長していつてくれる姿を見るのがとても楽しみです。



2016年度 教職員



## このご縁にありがとう

ひかりの会会長 山口しのぶ

今から6年前、今年4年生になった長女が3歳の時、初めて鎮西学院幼稚園にきました。自宅から徒歩で通える幼稚園もいくつかありましたが、とにかく子どもがのびのびと遊べる幼稚園、そして給食がなく、お弁当を持つていける所に魅力を感じていました。実際に行ってみると、自然の中でのびのびと過ごせる雰囲気、娘も私もすごく気に入りました。当時の園長先生が「こどもは遊びが仕事です。」と自信満々に言われていたのも、とても印象的でした。

日遅れで次女を自宅で出産し、家族でのんびり過ごしていたら、今度は異例の時期に、突然転勤の話…。しばらく放心状態でした。そのまま3年3ヶ月、私の実家のある五島で過ごし、2年前にまた諫早に戻ってきました。

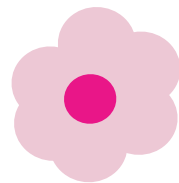
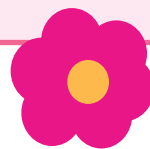
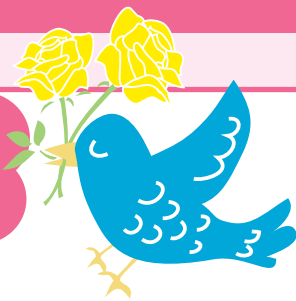
その年、年中から入れるのは5人。しかも先着順で決まるとのこと。その頃私は次女を妊娠中だったので、願書受付には主人が早朝から行ってくれました。受付時間の9時までドキドキしながら過ごしたことを、今でもはつきりと覚えています。主人が「3番だったよ。」と帰って来て、家族で入園できる様になったことを喜びました。

あれから5年、あの時生まれた次女と、この春からは三女も、鎮西学院幼稚園で、楽しい時間を過ごさせてもらっています。のびのびとした幼稚園の雰囲気と先生たちの優しい笑顔は、あの頃のままです。

また背すじがピンとなるようなあいさつをしてくれる高校生のお兄さん、子どもを見ると「かわいい」と優しく声をかけてくれるお姉さんたちに、鎮西学院の良さと、この幼稚園にいられた幸せを感じている所です。

このご縁に感謝しながら、子どもたちにとっても可愛くて貴重な時間を、大切に過ごして行きたいと思っています。

それから2週間後に、予定日より6



## ひかり組

(年少児)

担任／橋本千亜紀

緊張した表情で入園式を迎えた日が、ついこの前のことのようにです。入園当初は、お家の人と離れるのが寂しく、泣いていた子どもたちも日が経つにつれ、明るい笑顔や元気な声で自分を表現できるようになりました。また、今では自分のクラスで安心して過ごせるようになり、自分から進んで身支度を整えたり、好きな遊びを見つけたりと、随分集団活動に慣れてきた子どもたちです。

今年度は例年に比べて、ちよっぴり少ない人数で始まったひかり組でしたが、そのため一人ひとりがお互いを知る時間も長くはかからず、誰かがお休みをしていると、「○○ちゃん、いないね。」とすぐに気付き、尋ねてくる姿が見られます。こんな様子を見ていると、クラスという場が子どもたちにとって、家庭以外での安心できる場所になっているのかなと、嬉しく思います。

子どもたちは、毎日の礼拝で神様に守られていることに感謝し、お祈りをしています。これからも子どもたち一人ひとりが神様のお守りの中、心身共にすくすくと成長していくことを心から願っています。

過ごしていく一日一日が幼児期の大切な思い出となりますように☆



## ほし組

(年少児)

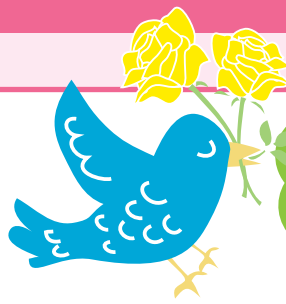
担任／宮前 寧々

年少児ほし組は、男の子4名、女の子4名、計8名のクラスです。入園してきたことがつい最近のように感じます。当初泣いていた子ども達も幼稚園にだいたい慣れ、毎日笑顔で過ごしています。

子ども達は、全員でおうちごっこ遊びをすることがとても大好きです。面白いことに役は日替わりで回っているので、色々な子ども達の様子が見られ、時々私にも役回りがきます。また、体操でも伸び伸び、はつらつと体を動かす姿も見られます。友達との関わりでは、名前を呼び合ったり、「一緒に遊ぼう」「貸して」「ありがとう」という素敵な言葉が聞こえるようになり、幅が広がってきました。

8人の子も達は個性豊かで、時には変な顔や面白い動きで、友達を笑わせたりすることもあります。毎日が笑いの絶えないクラスです。

ほし組は、これから1年を通じて巧緻性を伸ばすことを意識し、手先を使う活動(ちぎり絵、粘土、ぬり絵やヒモ通しなど)を積極的に取り入れていきたいと思えます。また、もう1つ、身体能力を伸ばすことを目標にし、四肢を動かすことやリズム運動なども取り入れていきたいです。巧緻性と身体能力とは密接な関係があるといわれているので、自分の体を支えられるよう、鉄棒ぶらさがりや尻ぬきまわり、ボールを使って投げる、蹴る、マット遊びなどのリトミックを楽しく活動に入れ、頑張っていきたいと思えます。



## にじ組 (年中児)

担任／江頭 弘美

にじ組は今年度、男児20名女児15名の35名でスタートしました。子ども達は毎日、元気いっぱい遊んでいます。四月当初は新しい環境に戸惑って泣いている子どももいましたが、今ではすっかり慣れてたくさん笑顔が見られるようになりました。朝の保育室はとても賑やかで、子ども達は自分の好きな遊び(制作やブロック遊び)を楽しんだり、友達と一緒に遊ぶこと(ままごとや変身ごっこなど)を楽しんでいます。最近では友達との関わりがますます増え、積極的にコミュニケーションをとったり、遊びが盛り上がりつつある様子が見られるようになりました。

そんな子ども達ですが、関わりが増えた分お互いのことが分かるようになり、その反面自分を表現できるようになった分友達とけんかになることもあります。ですが、素直な子ども達なので、自分の思いを受け止めてもらえる安心し、お互いに謝ったり、許しあって仲直りすることができそうです。けんかをしてまた仲良く遊ぶことができる、そんな子ども達の姿に感心したり、大切なことに気付かされる毎日です。

これから一年間を通して、子ども達は友達と色々な経験をしていくことと思います。毎日の遊びや活動、行事の中でたくさんのお話を学び身に付けていくことでしょう。子ども達の成長を楽しみにしながら、この一年間、一人ひとりの個性を大切に、クラスとしての団結力を高めていきたいと思っています。

そして、子ども達には心から幼稚園での生活を楽しんでほしいと思います。



## そら組 (年長児)

担任／荒木 智子

小さかった子ども達も、この春いよいよ幼稚園最年長クラス「そらぐみ」になりました。年長組になったことがとても嬉しく、毎日張り切つて過ごし、今まで以上に楽しそうなお友達です。

4月に新入園児の子ども達が入園してきて、お兄さん・お姉さんとして、良いお手本にならなくて、年長としての自覚も芽生え、優しく接する姿には、頼もしさも感じられます。

5月の学院内遠足で、年少さんとペアになり、優しく手を繋ぎ小さな子のペースに合わせて歩く姿はほほえましく、改めて成長を感じると嬉しかったです。

優しい子ども達がたくさん集まったそら組さん。遊ぶ時は思い切り遊びたいと、保育者の話はしっかり落ちて着いて聞くことができます。けじめのある良いクラスです。

4月から始めた手話も、物の名前や挨拶・天気など徐々に覚え、色々な手話ソングにも喜んで挑戦しています。

また5月からは木工遊びに取り組み、時には指に血豆を作る痛い思いをしながらも、日に日に釘打ちが上手になり、思い思いに楽しい作品を作っています。学院内に金づちのいい音が響いていたら、それは近くでの家の建設中ではなく、そら組の子ども達の釘打ちのいい音だと思ってください！

幼稚園最後のこの1年間、これから運動会やクリスマスなど、大きな行事もたくさん控えています。

鎮西学院幼稚園でしかできない様々な経験を通し、友達と一緒にやり遂げる喜びを十分味わって、沢山の思い出を作してほしいと思います。

そして、一人ひとりが自信を持ち心と体が今以上に大きくなるのびのびと成長することを期待しています。

神さま、どうぞそら組の子ども達の1年間の健康と成長を見守っててください。

# 「高等学校は今」

高等学校長

川村 正徳

## 入学式・始業式など

4月8日、新入生(71回生)263名を迎え、厳かな雰囲気の中で入学式を執り行いました。学校長が式辞で、「理想をしっかりと掲げ、勉学やクラブ活動等学院生活が心から楽しいと思える3年間を過ごしてほしい」と、新入生に激励の言葉を述べました。

入学式に先立って行われた始業式では、2016年度の目標聖句「確かに未来はある あなたの希望が断たれることはない」が森泰二郎学院長より示され、全校生徒総数831名で新年度がスタートしました。そして、恒例の対面式、歓迎遠足、1年生集団訓練と年度初めの行事が行われました。集う生徒たちには、温かで自由な教育環境の中で勉学に勤しむとともに、クラブ活動に汗を流すなど充実した学校生活を送ってくださることを願っております。

## 吹奏楽部定期演奏会

恒例となっている定期演奏会も今年で29回を数えることとなりました。今年5月3日に諫早文化会館、5月4日に長崎市民

会館文化ホールと2日間にわたり実施致しました。市民の皆さんや中学生および本

学院OBの方々など1000名を超える会衆の前で質の高い演奏を披露することができました。また、昨年の長崎県合唱コンクールで銀賞を獲得した本校コーラス部も友情出演し、演奏会に華やかさを添えてくれました。長崎市での特別演奏会は今回で6回目を数えますが、創立135周年を迎えるこの年に本学院発祥の地である長崎市で特別演奏会を開催することは大変意義深いことと思っております。

本校吹奏楽部は、1962年(昭和37年)に創部された、今年創部54周年を迎える県内でも古い歴史を持つクラブであります。学院の戦後復興のけん引役として長年活躍してきた吹奏楽部は本学院にとってなくてはならない大切なクラブであります。昨年度は九州吹奏楽コンクール、九州マーチングコンテストの両部門で金賞を獲得し、マーチングコンクールでは九州大会出場を果たしております。また、13年連続の長崎県文化活動推進校の指定を受けております。

## 物故職員記念礼拝

5月16日、物故職員記念礼拝を行いました。本学院では、毎年この時期に物故職員記念礼拝を行い、鎮西学院歴代院長の精神を受け継ぎ、建学の精神を確認する機会としております。今年も、C.S.ロング

院長、笹森卯一郎院長、川崎 升院長、千葉胤雄院長の遺影をかけた、本学院のOBで元高等学校教頭・現学院編纂室長の渡邊研宣先生を奨励者としてお招きして礼拝を守りました。渡邊先生には、厳しかった戦後復興と第18代学院長 千葉胤雄先生のご功績について熱くお話をいただきました。放課後は生徒と教職員が長崎(国際墓地、笹森家、川崎家、秋永家)、諫早(鮫島家、校内納骨堂)、大村(田川家、千葉家)の墓所を訪れ、お花を献げました。

## 進路実績

今春の進路決定状況は、九州大学(2年連続)、横浜国立大学、広島大学、熊本大学、長崎大学、山口大学、長崎県立大学、国際基督教大学、青山学院大学、明治学





院大学、明治大学、関西学院大学、西南学院大学、長崎ウエスレヤン大学等国公立大学合格者は31名(2年連続合格者30名以上)で、4年制大学の全合格者が169名と好成績でした。就職関係では国家一般職、警視庁、長崎県警、刑務官、自衛官等44名の公務員合格(前年度と同数)、一般企業に関しては三菱・日立・パワーステム等内定率5年連続の100%を2015年12月中旬に達成することができました。

#### 菖蒲忌でインターアクトクラブ活躍

諫早ゆかりの芥川賞作家野呂邦暢さんをたたえる「菖蒲忌」が5月29日、グラウンドパレス諫早で行われ、本校インターアクトクラブ生が野呂作品を朗読しました。「菖蒲忌」は諫早市芸術文化連盟が毎年開き、今回は36回目となるが、本校インターアクトクラブは31年前のクラブ創設以来毎年この式典補助に携わってきました。その爽やかな活動は諫早市民の皆さんからも好感をもたれています。

#### 2016年度高校総体で優勝旗2本獲得

今年度の高校総体で、卓球部女子が4年ぶりの団体優勝を勝ち取ることができました。ライバル校との意地がぶつかり合った決

勝戦では、追いつき、追い越されを繰り返した大接戦でしたが、雪辱に燃える本学院の勝利で幕を閉じることができました。また、サッカー部女子は決勝戦でライバル校から4点を奪う6連覇の貫禄の優勝でした。両チームの全国大会での活躍を期待します。

#### NHK学園高等学校協力校

NHK学園高等学校鎮西学院協力校の第7回卒業証書授与式が3月21日執り行われ、25名の卒業生が巣立ってまいりました。また、本協力校第10回入学式を新入生9名を迎えて4月25日に執り行いました。協力校校長が「通信制課程で学ぶことの困難さは自分で学習をすすめるしなければならぬということにあります。それぞれが神様から生かされていることに感謝し、与えられた使命を果たすための努力をしていただきたい」と激励の言葉を述べました。新年度は全校生56名でスタートしました。



## 女子サッカー一部

団体 **優勝** [6年連続6回目]

準決勝 鎮西 18-0 佐実  
 決勝 鎮西 4-1 海星  
 九州大会出場(長崎県雲仙市)  
 上位2校が全国大会出場

## 女子卓球部

団体 **優勝** [4年ぶり28回目]

準決勝 鎮西 3-0  
 決勝 鎮西 3-2 瓊浦  
 ダブルス  
 優勝 3E II 富田弥・3D 安田  
 3位 3C 平松・3F 上口  
 シングルス  
 優勝 1E II 富田 真穂  
 2位 3E II 富田 弥佑  
 5位 3D 安田 藍  
 九州大会・全国大会出場  
 (7/31~8/5 岡山県総社市 きびじアリーナ)

## 体操部

男子団体 2位  
 女子団体 3位

### 女子個人

3位 1B 中原慧香  
 ※2A 山口京太郎・1B 中原慧香は  
 インターハイ出場(8/2~8/5 島根県  
 浜田市 島根県立体育館)

## 男子卓球部

団体 準優勝

ダブルス  
 第2位 3A 田口・3D 松木  
 第3位 2A 馬渡・2C 針尾  
 シングルス  
 3位 3A 田口斗真  
 5位 3B 福田瑛二  
 九州大会出場

## 男子バレーボール部

団体 準優勝

準決勝 鎮西 2-0 長崎北  
 決勝 鎮西 1-3 大村工

## 女子バレーボール部

団体 3位

準々決勝 鎮西 2-0 清峰  
 準決勝 鎮西 0-2 九文

## 陸上部

1500m 優勝 3K 西川昇吾  
 4位 3C 寺本大希  
 800m 6位 3B 川端倫生  
 5000m 4位 3B 小林憲太  
 5位 3D 江口大雅  
 3000m障害 2位 3K 辻 将夢  
 ※上記の6名は、北九州大会出場

## 柔道部

男子団体ベスト8  
 女子団体予選敗退  
 男子個人  
 -100k 級 3位 3F 竹村洸星  
 女子個人  
 -78k 超級 2位 2F 岩崎 唯  
 -70k 級 3位 3K 下釜さおり  
 2B 末岡愛海  
 -57k 級 3位 2B 田村夏鈴  
 -48k 級 3位 2D 北川萌百珠

## ボクシング同好会

団体 準優勝

個人  
 ライト級 優勝 3B 伯野海人  
 フライ級 2位 3A 山口光輝  
 (7/28~8/5 広島県広島市 広島  
 市中区スポーツセンター)



# 2016年度 高校総体 各部活動戦績

**優勝!** 女子サッカー部  
 女子卓球部  
**準優勝!** 男子体操部 男子卓球部  
 男子バレーボール部  
 ボクシング同好会



# 2016年度 進路合格状況

進学主任 齋藤 州澄

## ● 国公立大学 31名

**九州大学** 1名(文) 1名(理) **2年連続 現役合格!!**

2015 2016

国公立大学合格者数 **3年連続30名超!!**

**横浜国立大学** 1名(教育人間科学) 1名(理工) **3年連続 現役合格!!**

2015 2016

**広島大学** 2名(医法) 1名(工) **2年連続 現役合格!!**

2015 2016

**長崎大学** 7名(多文化社会環境科学工教育) 7名(多文化社会環境科学工教育) **2年連続 7名合格!!**

2015 2016

## ● 私立大学

**138名**

国際基督教大学(ICU) 北里大学 獣医学科 明治大学 理工学部 青山学院大学(経営) 明治学院大学(心理) 関西学院大学(人間福祉) 立命館大学(理工) 長崎ウエスレヤン大学 など

## ● 公務員・自衛官(最終合格)

**44名** (全て一般進・商業科からの現役合格!!)

自衛隊航空学生(航空要員) **固定翼のパイロット!!**

国家一般職 長崎県警 2名 一般曹候補生 5名  
 刑務官 大阪府警 2名 自衛官候補生 28名  
 警視庁 神奈川県警 3名

## ● 2016年度 その他国公立大学

熊本大学 3名 福岡教育大学 1名 長崎県立大学 4名  
 山口大学 1名 神戸市外国語大学 1名 高知県立大学 1名  
 茨城大学 1名 北九州市立大学 2名 尾道市立大学 1名 など

## 進学

### 2年連続で九大に現役合格!

鎮西学院高校では、1975年に国公立大学進学コース(E組)が設置され、40年となりました。設立当初の10年間は、国公立大学合格者が1桁という苦しい時代もありましたが、現在では指導のノウハウが蓄積され、チームで指導する体制が確立してきました。そのため、この10年はコンスタントに20名以上、3年連続で30名以上の合格者を出すことができています。また、国際基督教大学(ICU)にも久しぶりに合格者が出ました。これらは、生徒の努力、担任のクラス経営、教科担当の熱心な指導、進学部チームでの指導、保護者の本校教育方針に対するご理解とご協力など、これら多くの要因が全て揃わないと成しえることは出来なかったと思います。

今後も、「ひとりひとりに丁寧な指導を!」を心がけ、生徒の進路希望実現に向けて努力していきたいと思ひます。



国公立大学に合格した卒業生たち

## 公務員・自衛官

### 2年連続で44名が合格!

公務員講座を始めてから10年。年々指導体制が整備され、2年連続で最高の結果を出すことが出来ました。大半の生徒は部活生であり、部活動を終えて19:00~20:30の講座を受講し、合格の栄冠を勝ち取りました。次年度からは、普通科の中に公務員コースを設置し、より一層指導体制を強化していく予定です。

## 一般就職

### 5年連続就職率100%

全国的な求人状況は上向しているものの、県内の有効求人倍率は1.11と全国平均を下回っています。その中で就職希望者56名全員が1月7日までに就職先が決まったことは快挙と言えます。

**合格 九州大学**  
理学部 生物学科

寄辺 悠太郎 くん (長田中出身)

少人数制授業や放課後学習会を通して、自分の中に知識や理解が蓄積されていく楽しさを知りました。鎮西学院だからこそ、合格を勝ち取れたと思ひます。

**合格 横浜国立大学**  
理工学部 化学生命系

入江 実月 さん (諫早中出身)

毎朝4時に起きて学習し吹奏楽も勉強も全力でやり切りました。鎮西学院の先生方は本当に熱心に指導して下さい、とても感謝しています。

**合格 国際基督教大学**  
教養学部

川原 陽菜子 さん (片淵中出身)

キリスト教を学びながら「なりたい自分」を目指す大学、それが私にとっての国際基督教大学です。感謝の気持ちを胸に大学の学びも充実させていきます。

# 「長崎ウエスレヤン大学は、今」

学長

佐藤 快信

4月2日(土)に入学式を終えた留学生を含む新入生たちも落ち着き始めた矢先に4月14、15日の熊本地震があり、動揺が留学生を中心に起きました。大学としては、学生の安否確認や熊本出身学生の家族の安否確認をおこない、幸いなことに大きな被害等はありませんでした。また、5月17日に学院幹部の一員として熊本の兄弟校である九州ルーテル大学と九州学院に被災見舞いに行きました。改めて、短大時代の古いロング館の立て直しを早急に実現するようしていきたいと考えています。

れ、「私立大学等経営強化支援事業」にも採択され、国庫補助金が増額となり、教育環境の整備への還元や経営強化をおこないました。また、文部科学省から「成長分野における中核的専門的人材養成の戦略的推進事業」(観光分野)が2016年度も委託され研究調査も進めています。

昨年度からキャリア教育を重視した新しいカリキュラム体系のもとに授業が進んでいます。先日(5月21日)におこなわれた恒例の国際交流イベントである「第13回 メイ・フェスタ」は、日本人学生や留学生、教職員だけでなく学外からも多く参加して頂き、大いに盛り上がるものとなりました。

初年次からの一貫したキャリア支援プログラムの強化の結果、2015年度卒業生の進路達成状況は、就職率・92・6%(2014年度89・3%、2013年度83%(内訳)一般企業41人 福祉関係19人 教員(高校)2人/県内55人、県外8人)でした。福祉関係国家資格合格率は、社会福祉士 合格者数7人 合格率41・2%、精神保健福祉士 合格者数4人 合格率57・1%でした。また、主な就職先は、長崎市消防局、J.R九州、三和中央病院、西諫早病院、ネットトヨタ長崎株式会社、ANA福岡空港株式会社、長崎空港ビルディング株式会社、藤村薬品株式会社、J.A長崎せいひで、進学先(大学院)は、鳴門教育大学大学院、長崎県立大学大学院、筑波大学大学院、九州大学大学院でした。

まず、2015年度を振り返りますと、第三者機関による「大学認証評価」の審査を受け、『適合』の評価を頂きました。文部科学省平成27年度私立大学改革総合支援事業では、タイプ1「建学の精神を生かした大学教育の質向上」(選定率44%)と、タイプ4「グローバル化」(選定率31%)に採択さ

2016年度に入ってから、4月中旬に日本・中国・韓国・台湾・マレーシアの11

学で国際インターンシップのコンソーシアムを立ち上げ、調印式を姉妹大学である韓国の仁徳大学でおこないました。国内だけでなく、海外へも活躍する学生が多くなっていることを期待しています。

産学連携では、大塚製薬株式会社様とは、4月28日に健康増進に関する連携協定を学院として締結し、本学西山ホールでキックオフセミナーとして天気予報士の天達武史氏を講師として迎え「熱中症予防」のセミナーを開催しました。特に、中小企業家同友会諫早支部様とは、産学連携委員会を中心に学生に対



する講演、さらには経営者が求める人材について保護者懇談会での講演など昨年度から多くの支援を頂いています。

今後とも、地域から信頼される、地域になくてはならない大学づくりに邁進いたしますので、どうぞ、これからもご支援頂きますよう、お願い申し上げます。





メイフェスタを終えて

外国語学科4年

松田 愛香

5月21日(土)、第13回「メイフェスタ」が開催されました。昨年は雨に見舞われ、大学内のカフェテリアで開催となりましたが、今年には天候にも恵まれ例年通り中庭で実施することができました。

ところで皆さんは「メイフェスタ」をご存知でしょうか。メイフェスタとは、留学生による各国の代表的な料理の振る舞いをはじめ、ダンス、ゲストライブによる世界の音楽を楽しむながら異文化体験ができる国際交流イベントで、毎年5月に開催されています。さまざまな音楽を聴き、ご飯を食べながら肌で異文化を感じることができるのは、この長崎ウエスレヤン大学ならではのことでと思います。会場のあちらこちらでは英語、中国語、韓国語、日本語はもちろんのこと、タイ語やネパール語も聞かれています。それらで私自身が世界旅行を楽しんでいるようです。



ような雰囲気なのかを知るために毎年このメイフェスタに参加されているそうです。日本人と各国の留学生が笑顔でお喋りしていること、また、当日までの準備やステージ上で発表するまでの努力が目で見えて感じられるのが好きだ、とおっしゃっていました。もしあの頃大学進学が一般的な社会であったら、この大学に迷わず進学するだろう、とも話してください、私たちが今ここでやっていることすべてが誇らしく思えました。

外国語学科はこのメイフェスタ以外にも、たくさん行事があります。留学生に日本の夏を感じてもらおう「サマーフェスティバル」や、各国の留学生が毎月交代で自国のダンスや音楽、料理を振る舞

う「カントリーデー」、日本語、英語の「スピーチコンテスト」などがあります。こんなに楽しく、しかも大学内で異文化体験ができることはとても魅力的です。残りの大学生活が実りあるものとなるよう、これからも積極的に留学生と活動し、思い出を残していければいいなと思っています。

## ウエスレヤン ジャズ アンサンブル (WJJE) 始動

「ウエスレヤン ジャズ アンサンブル」が活動開始しました。部員数も少なく小編成ですが、徐々にメンバーとレパートリーを増やし、数年かけてビッグバンド完成を目指します。ジャズといえば「即興演奏」。難しいイメージもありますがビッグバンドジャズはアンサンブル主体で親しみやすく、わが国ではすっかり普及しています。県内には小・中・高校にバンドがある他社会人バンドも長崎、佐世保、大村、諫早、小浜で活躍、大学では長崎大学スイングポットジャズオーケストラ (SBJO) が52年の歴史を誇ります。6月にその長崎大SBJO主催の「なかベジャズフェスティバル2016」が開催されました。SBJO長崎大の他、小浜中、海星高、長崎市の社会人バンドが競

演し西浦上小のバンドメンバーと保護者も観戦するという、県内ビッグバンドジャズ層の厚さを示すイベントでした。さて、我がWJJEの活動第一歩は5月のメイフェスタに長崎大SBJOを招き、その中にウエスレヤンのメンバー数名が加わって演奏するというものでした。数回にわたり長大の練習室に出かけ合同練習を重ね、ようやく本番にこぎつけました。吹奏楽経験者がジャズを始めると、最初に面喰らうのが「ノリ」の違い。八分音符を「タタタ」ではなく「do・do・do」と「s」と「1拍3連で演ります。まさに「スイング」です。



なかベジャズフェスティバル2016

この独特の「ノリ」に我が部員も当初戸惑いましたが、長大メンバーの指導もありしっかりとスイングするようになりました。日々の練習に加え、こうした他大学との交流やバンドマネジメントを通して部員のキャリア形成にも期待できます。ご機嫌なジャズを地域の方々にも聴いていただけるように練習中です。(山口聖孝 長崎ウエスレヤン大学 キャリア支援担当課 長兼WJJE音楽監督)



大学生ならやはり、ジャズでしょう。

Wesleyan Jazz Ensemble



メイフェスタ 長大SBJOとのコラボ演奏

## 卒業生の進路状況

## 2015年度(2016年3月卒) 卒業生の進路決定状況

●就職者65人 ●就職希望者69人 ●進学者6人(大学院・専門学校など) ●その他13人(帰国など)

就職決定率 **94.2%**  
就職先 県内57人 県外8人  
一般企業(公務・教職含む)45人  
医療福祉20人

過去3年間の就職決定率  
2012年度 **87.5%** 2013年度 **83.0%** 2014年度 **91.5%**

## 進学・留学先

鳴門教育大学大学院、長崎県立大学大学院、九州大学大学院(研究生)、筑波大学大学院(研究生)、いさはやコンピュータカレッジ、オーストラリアImpact English College

## 就職先

たちばな信用金庫、JA長崎せいひ、JR九州、長崎空港ビルディング、ANA福岡空港、福岡運輸、ホテルグランドパレス諫早、雲仙福田屋、福徳屋旅館、ネットヨタ長崎、メモロード、東和開発、藤村薬品、タナチョー、JTC、丸高商事、光洋石油、ファイブシーズン、あきんどシロ、ひぐちグループ、ドラッグストアモリ、コスモス薬品、ダイレックス、白雪食品、長崎油銅工業、和泉屋、村川蒲鉾、三和中央病院、大村共立病院、西諫早病院、南長崎クリニック、長崎厚生福祉団シフォニー福佐の森、社会福祉法人宰府福祉会、社会福祉法人みのり会、社会福祉法人さゆり会、社会福祉法人むつごろう会、医療法人恵会マザリーホーム光風台、社会福祉法人恵珠苑、諫早療育センター、大村子どもの家、ヒューマンネットワーク、日進開発くみの里、長崎市消防局、こころ夢未来高等学校 など

2016年3月卒  
卒業生トピックス

佐藤 三絵子

鎮西学院高等学校出身  
社会福祉学科卒業  
医療法人祥仁会 西諫早病院

大学を卒業して2ヶ月になります。私は現在学生の頃から目指していた医療機関で働く福祉職、医療ソーシャルワーカー(以下 MSW)として働いています。この職を目指すきっかけは学生の時に病院見学や医療機関での実習、外部講師として実際の現場で働くMSWの方の話を聴く機会があり、その仕事に魅力を感じたことです。こうした機会に積極的に参加したことで社会に出てからも学生時代に関わったMSWの方々と今度は同じ職種として関係を築くことが出てきます。多くの方との連携や助け合いが必要な職種なので笑顔を大切に、関わる方々一人ひとりの良好な関係を築けるように業務に励んでいます。



中山 陽平

鎮西学院高等学校出身  
経済政策学科卒業  
福岡運輸株式会社

長崎ウエスレヤン大学で過ごした4年間はとても濃いものでした。2年次では、韓国の大学で実施された日中韓のアジア福祉の研究会に参加。また、入学から3年間長崎がんばらんば国体のボランティア活動を行い、入学前までは予想もしていなかった経験をする事が出来ました。現在は大阪支店で冷凍輸送の運行管理の業務を行っています。食品を多く扱っている為、商品の取り扱いは非常にシビアになります。また、大学を卒業してから2ヶ月が経ち、社会人として壁に当たると毎日を過ごしているところです。それでも、大学で経験してきた事を糧にし、責任感と使命感を持って社会に貢献できるように精進していきます。

# 学院創立135周年記念 鎮西学院平和祈念式典・平和大行進のご案内

鎮西学院では、毎年学院行事として平和祈念礼拝を捧げ、献水・献花式を執り行っています。  
学院創立135周年となります今年も平和大行進も予定しております。  
鎮西学院の平和祈念行事を下記日程で開催いたしますので、どなた様もご出席頂きたく、  
ここにご案内申し上げます。

## 記

8月8日(月)平和大行進【活水中高校・活水女子大→鎮西学院】

出発礼拝 活水中高校 8:30

出発式 かもめ広場 9:20

14区間をリレー形式で鎮西学院まで行進します。

また諫早市役所広場でも15:00に出発式を行い、別途鎮西学院に向かいます。

8月9日(火)午前9時20分 平和祈念礼拝(鎮西学院講堂)

午前10時30分 献水・献花式(慰霊碑・平和祈念碑前)

学校法人鎮西学院 理事長 栗林 英雄  
院長 森 泰一郎

## 鎮西学院創立135周年記念式典(学院内行事)

日時:10月7日(金) 13:00~15:30

会場:諫早文化会館(諫早市宇都町9-2)

内容:記念礼拝、記念講演(講師:姜尚中 鎮西学院教育顧問)

## 学院人事異動

姜尚中氏 学院教育顧問に就任

中野伸彦教授 副学長・理事に就任

学校法人鎮西学院の理事・監事

2016年7月1日現在

役職名	氏名	役職名	氏名
理事長	栗林 英雄	理事	山城 順
院長	森 泰一郎	理事	杉原 宏一
理事	佐藤 快信	理事	山口 哲生
理事	川村 正徳	理事	森 俊介
理事	西村 暢彦	理事	黒田 隆雄
理事	加藤 育男	理事	齋藤 寛
理事	西 嗣也		
理事	中野 伸彦	監事	井手 雅康
理事	鐵口 宗久	監事	渡瀬 寛

## 2016年度新規採用者

氏名	所属	氏名	所属
岩永 秀徳	大学・教員	吉岡 桂	大学・教員
樋口由起子	大学・教員	山内 徹也	高校・教員
力久 愛	大学・教員	坪口 道和	高校・教員
濱崎 大	大学・教員	デイヴィット・マッカウ	高校・教員
坂田 昌子	大学・教員	竹原 聡美	高校・教員
井田 貴子	大学・教員	宮前 寧々	幼稚園・教員

## 2016年度昇格者

氏名	所属	新職位	旧職位
金 文華	大学	教授	准教授
廣田 悦子	大学	教授	准教授

## 2015年度退職者

氏名	所属	氏名	所属
亘 明志	大学・教員	片山 徹也	大学・教員
山城 順	大学・教員	村岡 則子	大学・教員
田口 信夫	大学・教員	宮川 博幸	高校・教員

Open campus

# オープンキャンパス 2016

進路相談や模擬授業など、有意義なイベントをたくさん用意してオープンキャンパスでお待ちしています。教員・先輩に学部や学科・コースのこと、講義や在学中の留学についてなど、進学に関わるいろいろなことを直接聞いてみてください。大学内の施設もしっかり見学できます。是非この機会に友達や保護者の方と一緒にご参加ください。



2016年  
7/18(月・祝)  
8/20(土)

事前予約不要 当日参加OK 保護者のみ参加OK

## オープンキャンパスプログラム

<b>学部・学科紹介</b> 在学生が、それぞれの学科の学びの特長や将来の進路などを紹介します。高校生からの質問にもお答えするのでも聞いてください。	<b>模擬授業(全学部学科)</b> 実際の授業ながらの模擬授業を実施します。高校とは違った雰囲気での授業は大学生になった気分を味わうことができます。	<b>チャペル体験</b> <b>学内見学(随時自由)</b> <b>進学相談コーナー</b>
---	--	---

「リアル脱出ゲーム」の感覚で学内を巡り、ウェスの勇者とともにダンジョンの奥に眠る3人のボスを倒して豪華賞品をゲットしよう!!

場所:長崎ウエスレヤン大学(〒854-0082 長崎県諫早市西栄田町1212-1 / TEL.0957-26-1234)

# OPEN CAMPUS

鎮西生が考えた  
楽しいオープンキャンパス!

2016 鎮西学院高等学校オープンキャンパス  
《時間》各日9:30~12:00(受付9:00~)

第3回 10/22(土)

入試説明会  
●体験チャペル  
●学校紹介・学科紹介  
●入学試験について  
【入試の傾向と対策】

第1回 7/18(祝・月)

- 吹奏楽部による歓迎演奏
- 体験チャペル
- 学校紹介・学科紹介
- キャンパス探検
- 保護者対象相談会(質問コーナー)

長崎ウエスレヤン大学  
オープンキャンパスも同日開催!!

- (スタンプラリー) 賞品をゲットしよう!
- (制服紹介) 一足先に制服を着てみよう!
- (模擬授業) 授業体験もできます!

第2回 8/2(火)

- 部活動体験  
運動部・文化部の体験ができます!
- ※運動ができる服装を持参してください
- キャンパスツアー  
(学校紹介も行います)



学校法人 鎮西学院  
鎮西学院高等学校

《普通科》国立大学進学コース—般進学コース(商業科)  
〒854-0082 長崎県諫早市西栄田町1212-1  
TEL 0957-25-1234 FAX 0957-25-1237

## 鎮西学院幼稚園 2017年度 園児募集

●5歳児 ●4歳児 ●3歳児

※年度途中満3歳に達したお子様の入園有

- 入園願書配布  
10月20日(木)より
- 入園願書受付  
11月1日(火)より



入園説明会 10月15日(土) 10時

★2016年度 3歳児募集中

## 未就園児親子あそび

- ◎おひさまくらぶ(2歳以上児対象・月2回)
- ◎おひさま&グリーンクラブ  
(1歳以上児対象・月1回)

水曜日  
実施

## 預かり保育(延長保育)

- ◎保育終了後~18:30
- ◎春・夏・冬休みも実施

HPに  
予定表を  
載せて  
います

## 「シャロン」

シャロンというのは聖書の舞台であるイスラエルの地名のひとつで、乾燥した気候のイスラエルにあっては珍しく、植物が生い茂り、花も咲く肥沃な土地なので、旧約聖書の中では理想郷のように扱われている場所です。「シャロンの花」とはそこに咲く可憐な花で、日本では「むくげ」と呼ばれます。旧約聖書の一編である「雅歌」では、純潔の象徴としてこの花が登場します。

讃美歌II192番 "Jesus, rose of Sharon" Lyrics Ida A. Guirey 1922 Music Charles H.Gabriel 1922

学校法人  
鎮西学院 〒854-0082 長崎県諫早市西栄田1212-1  
TEL 0957-26-8200 URL http://www.chinzei-gakuin.jp/

鎮西学院幼稚園  
TEL 0957-25-1231  
FAX 0957-25-1257  
URL http://chinzeigakuinyouchien.ed.jp

鎮西学院高等学校  
TEL 0957-25-1234  
FAX 0957-25-1237  
URL http://chinzeigakuin.ed.jp/

長崎ウエスレヤン大学  
TEL 0957-26-1234  
FAX 0957-26-2063  
URL http://www.wesleyan.ac.jp

鎮西学院だより「シャロン」  
2016. Vol.3

発行日/2016年7月15日  
編集・発行/鎮西学院広報戦略室  
発行人/森 泰一郎(学院長)  
編集長/上田 常雄(広報戦略室長)